



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

京都部部報

2016-2017年度 BULLETIN

第1号 2016.10発行

京都部部長主題 子供たちの未来のためにさあ始めよう、ワイズの叡智と行動で

京都部部長 廣井 武司

京都プリンス

西日本区理事主題 ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！

西日本区理事 岩本 悟

熊本にし

国際会長主題 "Our Future Begins Today."

国際会長 Joan Wilson

カナダ

「私たちの未来は、今日より始まる」

スローガン "Together We Can Do So Much More."

「手を取り合えば、もっと多くのことができる」

アジア地域会長主題 "Respect Y's Movement"

アジア会長 Tung Ming Hsiao 台湾

「ワイズ運動を尊重しよう」

スローガン "Solidify Y's Men Family for Better World"

「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」

第21代京都部部長 廣井 武司 (京都プリンス)

築こう未来への懸け橋を



この度2016-2017年度の京都部部長をお引き受けすることになりました京都プリンスクラブの廣井武司です。伝統ある京都部部長としての大役に身も心も引き締まる思いです。

この年齢になっての部長職は果たしてゴールまでたどり着けるのか、いささか不安ではありますが、キャビネットや主査のお支えをいただき同じやるなら明るく楽しくをモットーに1年間頑張って京都部の未来のために歩いていきたいと思っています。

今期の会員数は481名でのスタートになりました。魔の6月30日が今年も存在していました。前期の505名から見ても悲しい会員数の減少です。仕事上の都合やその他クラブを去られる理由は色々あるのですが、その退会理由が納得できるものでないのなら、クラブはその理由を考えてほしいと思います。

今期は新クラブのチャーターもありますので会員数の目標を550名にしています。私の希望は600名、これは近い未来の目標と置いておきます。今各クラブから新会員の入会の報告が来ています。各クラブのご尽力に感謝いたします。この報告は私にとって最高の栄養剤になります。新会員の獲得は前期での活動が大切です。より一層の行動をおねがいいたします。会員数の少ないクラブはどんどん他クラブとの交流を図ってください。少人数でも素晴らしい奉仕活動を行うことができますが、そこに仲間が増えればよりアクティブな活動に展開できますし、1人1人の負担も軽減できます。やはり数は力なりのです。合同例会、合同プログラムの展開やってみましょう。クラブの高齢化も気になります。今はじめましょう、青年会員獲得のための方策を。一つのきっかけで劇的に変化するかもしれません。ようは「やる気」なんですよ。西日本区1500名の会員のうち三分の一が京都にいるんです。

みんなで京都からワイズの新たな時代を切り拓いてゆきましょう。

「子供たちの未来のために、さあ始めようワイズの叡智と行動で」これが今期の部長主題です。毎日のニュースで報道される子供たちを巻き込んだ事件や事故。あまりの多さに慣れてくる自分がそこにいます。昔と現代とは社会の仕組みが変わってしまっているので仕方ないでは済まされない問題が多く存在します。年間10万件におよぶ児童虐待、子供の貧困の問題、いじめによる自殺、ゲーム感覚で起こす事件など心が痛みます。

このような時代、私たちワイズメンはYMCAをとおして青少年の健全育成のために多くの奉仕活動を展開しています。地域社会に対しても同様にクラブごとに活動をしています。

一つ一つの事業は小さくても、積み重ねてゆけば大きな力になってきます。そして子供たちの親も巻き込んでの事業展開、そう親子キャンプなども企画できればと考えます。

私たちが積極的に行動しましょう。YMCAのユースリーダーたちと語り合いましょう。そこにワイズメンとして教えられることもあるでしょう。そして確かな未来を渡せるようにみんなで行動しましょう。新しい時代のための希望ある未来のためにいつかではなく、今考えて一歩踏み出しましょう。

役員・事業主査

次期部長 竹園 憲二 京都ZEROワイズメンズクラブ



ワイズメンズクラブは京都に19クラブあります。各クラブのYMCAサービス活動や地域奉仕活動を見ますと、本当に何処のクラブも御尽力いただいている為、成果も結果も出ていると思います。

そこで、部としての役割の中で各クラブのPRサポート、またクラブ以外での交流をできるようなサポート、最終はEMCに繋がるサポートを目標にしていきたいと思っています。

抱負は、どうしたらEMCに繋がるかだと思っています。ワイズメンズクラブ総勢500人と考えると規模の面でも、勢いと言った面でもアピールできると思います。何か一つの思いの為に、同じ時間をたとえ1時間でも時を刻めれば交流を持つこともできますし、その姿を一般の方が見て共感して頂ければEMCと繋がると思っています。

宜しくお願いします。

直前部長 高田 敏尚 京都ワイズメンズクラブ



西日本区のホームページをみると、その資料庫のなかに「部長の役割」というページがあります。部長としての心構えや業務内容が書かれています。主任などの役割も事細かに書かれています。「直前部長の役割」もないかなと改めて探しましたがありません。西日本区の役員ではなくなったので当然といえば当然ですが、区役員を外れると冷たいものです。京都部の役員としては残るのです。そこで、いくつか考えました。

1. 意見はだまって聞いておこう

1. 自分ができなかったことを求めない

1. 相手の立場になって物事をかんがえていこう

……こんなことを言っていると体の動かない老人のようですが、あくまで部長をお支えして悠々自適に過ごす好々爺のような気分です。

ちょっと忙しかった前期をふりかえり、体と心の「リトリート」につとめています。

書記 松田 博一 京都ウェルワイズメンズクラブ



今期京都部書記を務めさせていただきます、京都ウェルクラブの松田博一です。よろしくお願いいたします。

書記は、役員会や評議会の議事進行や記録、各クラブへの連絡が主な仕事ですが、私はそれに加えてキャビネット一丸となって、各クラブの活動、YMCAの行事、部の運営が活発かつスムーズにいくように、部長と各事業主査、各クラブ会長の潤滑油になればと思っています。何か新しい事を始めるというよりは、部長が思い描いておられるイメージを具現化するために夤々と役割に取り組み、そしてしっかりと次期に繋いでいくことが大切だと感じています。

しかし、私自身がワイズ活動を楽しむことは忘れていません。書記の仕事も新しい経験として、たっぷりと楽しんでいくつもりです。部には色々なクラブから役員、事業主査の方々や、各クラブの会長がやってこられます。皆様との出会いや交流もどんどん楽しんでいこうと思います。それに、自クラブの活動も眼が離せません。楽しむのに忙しい1年間にしていこうと張り切っています。

どうか皆様、至らない点も多いかと思いますが、よろしくお願いいたします。

書記 小野 敏明 京都プリンスワイズメンズクラブ



この度、スポンサーである廣井部長に声を掛けて頂き、京都部書記を拝命いたしました京都プリンスワイズメンズクラブの小野と申します。一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。京都部キャビネットの一員として、部のワイズメンの皆様方と共に、京都部の発展の為に奉仕してゆく所存です。

廣井部長の主題である「子供たちの未来のために、さあ始めよう、ワイズの叡智と行動で」を一年間の

活動指針とし、書記としての実務に追われるとは思いますが、できる限り総合的な支援ができるように活動してゆきます。

京都部の歴史を背負う役割を頂戴したことに感謝します。また、今期一年間、誠実に役割を全うし、さらに勢いを増した京都部を次期に繋げてゆきたいと考えています。

会計 飯尾 豊 京都プリンスワイズメンズクラブ



今期、京都部会計を仰せつかりました京都プリンスクラブの飯尾豊です。一年間、宜しくお願ひ致します。今から2年前、私がプリンスクラブの会長をしていた時に廣井ワイズを次々期京都部部長に推薦した関係で会計の重職を仰せつかりました。ワイズ歴も浅い私にとって何から始めて良いかわからない時に直前会計の金澤ワイズから部会計の引継資料を頂き大いに助かり

ました。お蔭を持ちまして予算の組立、各クラブ様宛への請求、入金の確認もだいぶ様子が分かってまいりました。

皆様の大事なお金を預かっている以上、正確、丁寧、迅速をモットーに京都部を支えて行きたいと思っております。

何卒ご指導ご鞭撻を宜しくお願ひ申し上げます。

YMCAサービス・ユース事業主査 太田 雅彦 京都洛中ワイズメンズクラブ



主査主題は「子どもたちの未来のためにYMCAとともに考え、行動を！」と致します。周知の通りYMCAの様々な活動は、子どもたちの未来のために、大いに確実に繋がっていますし、私たちワイズメンズクラブは、「まず第一にYMCAのためのサービスクラブとして活動する」を目的の一つ目としています。

これからもYMCAとの良き相互補完のパートナーとして、子どもたちの未来のために社会から何が求め

てられているかを、YMCAに集うリーダーや若いボランティアの仲間たちと世代を越えて、一緒になって考え、行動する機会をつくり、具体化を進める年としたいと思います。

YMCAの年間の諸事業への参加・協力も各クラブに積極的に呼びかけ、より良きパートナーシップを高める努力をして行きます。それと「Yサ・ユース献金 目標 ¥2,000/人の100%達成」をめざします。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

地域奉仕・環境事業主査 山川 新一 京都めいぶるワイズメンズクラブ



今期CS事業主査をお受けするにあたり改めて、CS事業の幅の広さ、奥行きを感じます。私はワイズメンズクラブに入会して、自クラブでの地域奉仕活動をする中でどんどんワイズライフにのめり込んでいったのは確かな話で最近の児童養護施設の現状や知的障害のある子どもたちへの偏見は今も変わらず宇宙で暮らせる時代、DNAを組み替えられる時代になってもお互いに認めあえる時を迎えていないこの現状。

児童養護施設は、本来の孤児院という役目からいじめや虐待、育児放棄といった大人側の勝手な暴力から子どもたちを保護する施設へと変わり、どんなに医学が発達しても、どんなに豊かな時代が来ても、総出生人口の2%は知的に障害を持って生まれてくるという現実を当事者若しくは当事者の家族でなければ、なかなか知りえない、また知っていても支援、協力の仕方が分からない社会である事は事実だと思います。

ワイズメンになったからこそ常に考え実際に触れ合える機会を頂いたと感謝しています。京都部各クラブにおかれましてはそれぞれに、誇りとする様な素

晴らしい事業を継続されている事に敬意を表します。

そして、それぞれのクラブがYサの芽をCSの芽を上手に育て花を咲かせ実を实らせる事、その延長線上に広報がありEMCがあると感じます。EMCや広報が一人歩きしても継続的なクラブの増強には繋がらないのではないのでしょうか。

YサやCSの活動を理解し、それを楽しむことができる。そして自己の成長に繋がれる人こそが、自クラブに誇りを持ち自分の大切な友人を自信を持ってワイズへ誘う事ができ自らも、自己研鑽につながる本当の意味でワイズライフを楽しめる事と成るのではないのでしょうか。

環境に関しても、昨今の大雨や台風、地震、津波といった自然環境から紛争や貧困、暴力や虐待といった家庭、地域、学校や社会環境まで幅広くある中で「今、私にできること。今、ワイズにできること。今、家庭でできること。」ひとりひとりが考え、発案し実践できることを報告し皆さんとの情報の交換、共有を図りたいと考えます。

その折は是非ご協力をお願いします。

事業主査

EMC事業主査 久保田 雅彦 京都グローバルワイズメンズクラブ



今期、EMC事業主査を仰せつかりました京都グローバルクラブの久保田雅彦です。この数年の京都部の会員数は500名前後で推移しております。京都部の全てのクラブにおいてEMCを非常に重要なテーマとして捉えられ、各クラブで創意工夫しながら会員増強に向けて活動されております。EMCにとって最も大切なことは個々のワイズライフの充実だと私は考えます。『すべてのメンバーが主人公!!』

メンバー全員が輝けるクラブ創りを目指すことが、自ずと会員増強に繋がるのではないのでしょうか。『ワイズ最高!!』とメンバー全員が感じられるようなクラブを築いていきましょう。今期は北京都フロンティアクラブがチャーターされ、京都部の19番目のクラブが誕生しました。この新クラブの設立を機に京都部が大きく成長できますように1年間、活動して参りますので宜しくお願い致します。

国際・交流主査 上澤 正廣 京都エイブルワイズメンズクラブ



2年前からそれ以前のファンド事業委員会。交流事業委員会が、国際・交流事業委員会としてスタートしました。主査としてどのような活動をするのか、各クラブさんへのお手伝いをすればいいのかよく理解していないのが実情です。

国際・交流事業に関する用語の理解、現状に於いての各クラブさんの国内交流(DBC)、国際交流(IBC)の締結状況を確認させて頂きました。それで締結した相手クラブが解散した、連絡が取れないなどのクラブがあれば、複数のDBC、IBCを締結され交流されているクラブ、また新しく締結されたクラブ、新たに締結先クラブを探されているクラブなどがありました。大半のクラブさんが、周年事業での

相互交流をされているようでした。

ワイズメンとしての目的の「一つに「健全な交友関係を創り出す」とあります。自クラブだけの交流のほか、在京クラブとの交流、西日本区、東日本区、海外クラブとの交流など、ワイズ活動での出会が大きな輪になっていくものと思っております。

7月から、部長公式訪問遣行員として6クラブの例会に訪問させて頂きました。自分自身として素晴らしい出会いと交流をさせて頂き感謝です。

今期STEP事業としてデンマークからの青年をバレスクラブさんで受け入れて頂きありがとうございます。また、BF代表として、BF資金を活用して頂きおおいに海外交流をして頂きたいと思えます。

西村メネット事業主査 西村 博 京都プリンスワイズメンズクラブ



ワイズメンズクラブに於いてのメネットのスタンス“メネットにどのようにメンの活動に関わってもらうか?”一年間じっくりと考えていきます。メネットの立場は、メンをサポートし、ワイズの奉仕活動を共にするというもので、他の奉仕クラブ(ライオンズクラブ・ロータリークラブ)にはない独自のスタイルです。ワイズメンズクラブは、数ある奉仕クラブの中で唯一家族と共に参加できる奉仕クラブです。メンと共に今メネットとして何ができるかこの一年じっくりと考えていきたいと思えます。京都部に於いても、メネット会のあるクラブ無いクラブ関係なく一年間楽しくメネット事業を推進していきます。メネット事業に対する理解や取り組みは、各クラブ

によってかなりの温度差があるように見受けられますが、クラブのメンの意識一つでメネットへの情報の伝達は、スムーズに行えると考えます。メネット事業については、各クラブによって取り組み方がそれぞれ異なるのは当然です。又、メネットの考え方もまちまちだとは思いますが。西日本区におけるメネット事業においては、メネットの位置が単なるメンのサポーターではなく、メネット独自で企画された事業を西日本区のメネット全員の力で運営し目標の成果を挙げるものです。

京都部各クラブに向けて、この点をしっかりアピールし、メネット事業への取り組みをお願いしていきたいと思っております。

京都部PR委員長 岡西 博司 京都プリンスワイズメンズクラブ



PR委員会って、何をすればいいんだろう？
僕みたいなパソコンの事がわからない人間に何ができるんだろう？誰に向けてPRするんだろう？
京都部のホームページをどうしたら見てもらえるんだろう？どうして僕がこんな委員会の委員長になったんだろう。後悔の気持ちでいっぱいのまま、今期が始まりました。しかし、各クラブの会長様達とお喋りしている間に、こんな事を考えるようになってきました。
もっといろんな人達に自分達のやっていることを知ってほしい。各クラブにおいては、本当に素晴らしい事業をされているんだ。何とかお手伝いできないものか。そのことがひいてはワイズメンズクラブの発展に少しは役に立つのではないだろうか。
西日本区においては、広報主任という役職が無くなりました。なぜなら一年任期の役職で西日本区のホームページを管理運営してゆくのはとても出来ない。

何年も関わっていただくことにより、HPの活性化が可能になって行くのではないかな。その事を踏まえて、京都部もPR委員会が発足したのです。
この委員会には、永年HPの運営に携わって来られた方々が数名おられます。そして、彼らは、「ネタがなければ、何にもできない」と言っています。
皆様はPR活動が重要であると知っておられますよね。
どうぞ、このPR委員会を活用してみてください。京都部のEMC活動につなげてみてください。パソコンばかりじゃなくて、幟（のぼり）やシールのようなIT以外のPRもあると思います。皆さんの知恵をお貸しください。少しでも京都部のワイズの発展に役に立ちたいと思っています。
何分力不足ではありますが、今期一年、本気で頑張りたいと思っています。宜しくお願い致します。

京都YMCA 統括連絡主事 加藤 俊明



ワイズメンズクラブの京都部の廣井部長の期も順調にスタートしました。
今期廣井部長は「子供たちの未来のために さあ始めようワイズの叡智と行動で」という標語をあげられました。
今後ますます少子化の進行する日本社会にとって「子供たちの未来のために」という言葉は、「我々の社会の未来のため」と言っても過言ではないでしょう。
北米のYMCAは“We build Strong Kids, Strong families, Strong communities”というスローガン

を掲げて強い子どもを作ることが強いコミュニティの形成と関連付けて強調しています。しかし現在の日本でこどもたちのおかれている状況は、虐待や家庭崩壊によるこどもたちの貧困の問題や、自然とのふれあいや遊びを通して獲得するコミュニケーション力や生きる力を得る機会の減少など課題がたくさんあります。だから今まさに「ワイズの叡智と行動」が必要なのではないでしょうか。
青少年育成を行うYMCAだからYMCAを支えるクラブだからこそできることがたくさんあるはずです。

各クラブ会長

京都ワイズメンズクラブ

会長 三保 俊幸

70年近い歴史のなかで繰り広げられた京都クラブの実績を考えると身の引き締まる思いです。しかし私はこれらの業績に胡座をかくわけにはいきません。

メンバーの生活環境も、活動に参加出来るスタンスも変わって来ているなかで、もう一度メンバーの話に耳を傾けます。入会候補の方には魅力を感じて頂けるような、例会やYMCAサービス・プログラムを企画し、新入会メンバーには「チーム・新しい風」に参加して貰い、一緒に京都クラブ70周年のあるべき姿を考えます。

主題「さあもう一度みんなで」はそんな想いを込め、英訳"Let's give it another go"は「何か他の事を！」やってみましょう、との意味を込めています。

私はBrother FundのFull grants参加を目標とします。その「代表の責務」はワイズメンのモデルであり、私の目指すリーダーの姿でもあります。



福知山ワイズメンズクラブ

会長 堀 一博

抱負を会長主題に込めよういろいろ考えました。最初survivalとかrevival というような言葉も使ってみました。が、「生き残り」とか「再生」とか、ちょっと生々しい感じが鼻につくようになり、いっそシンプルに「やってみよう」にしました。一人で空回りしてもしょうがないので、肩の力を抜いて、できることをやろうと。ところで私の個人的な主題は利休の名言「一期一会」。ウィキペディアには『あなたとこうして出会っているこの時間は、二度と巡っては来ないたった一度きりのものです。だから、この一瞬を大切に思い、今出来る最高のおもてなしをしましょうと言う意味』とあります。私は教師をしていて、クラスでも年度当初などよく生徒にこの話をします。毎年毎年、巣立っていく生徒たちを送り出す側の者として、この言葉の意味は身に染みて実感しているからです。今年お会いする、さまざまなクラブの会員の方々やゲストスピーカーまたはビジターの方々と、二度と巡っては来ない大切な時間を共有したい、それが私個人の抱負です。



京都バレスワイズメンズクラブ

会長 安達 雅直

京都バレスクラブ46期会長の安達雅直と申します。

当クラブの今期の主題に、「効率よく、効果に」という言葉を使っています。

ビジネスに置ける手法を使い、私の視点から奉仕活動を見直そうと考えました。

主に、クラブ運営・奉仕活動・会員個人の3つの観点において、効率と効果を考え行動し、その結果、クラブに良い変化と多くの満足感を得られるようにする目的です。

近年、多くのクラブが会員数の減少に苦しんでいます。お陰様で当クラブは多くの新入会員に恵まれ、会員数も増えています。バレスクラブ全体で会員増強に取り組んだ結果が、活発な活動が出来る現在に繋がったと思っています。

1年間という期間は短い時間ではありますが、会員が同じ目標に向かって一丸となり、結果、クラブ事業全てがEMCに繋がるよう「効率的」に活動し、会員数の純増と、高い満足感を得られるよう、私自身、努力していきたいと思っています。



京都ウエストワイズメンズクラブ

会長 角谷 多喜治

京都ウエストワイズメンズクラブも37期を迎え、クラブ誕生から数々の愛と奉仕の活動を行ってきた歴史を振り返ると、その源は隣人愛・無償の愛であり、今後も様々な人と様々な活動を通じて受け継がれることでしょう。

人間性溢れる各メンバーが見返りのない愛で、集い・参加し、自らもその愛の恩恵を受け、そして成長し、社会に一石を投じられる存在であり続けることを心から願います。

今期の会長主題である Love of humanity は、この愛と奉仕活動の実践を意図したものです。

Yサ、地域奉仕活動に加え、国際大会・他部会・他クラブ例会への参加等…地域を超えた「交流」によって、ワイズメンの醍醐味を味わえる機会を大切に、この「交流」を今期の目玉と考え、メンバーの積極的な参加により実現して行きたいと思っています。



京都めいぶるワイズメンズクラブ

会長 松村 康弘

今期、再度、会長をチャレンジさせて頂きます。前回は主題を『原点を見つめて、あしてへ』として、30周年式典を無事終えることが出来ました。

今回は、未来志向で主題を『未来に向かって』～今、一步踏み出そう～

としています。前期も20年以上在籍のメンバーが退会され、メンバーも25～26名で新旧の入替が有って辛うじて大きくメンバー減少にはなっていませんが、危機的な状況に陥っています。そんな中、前期5月には、33歳のニューメンバーの入会があり、今期も9月に33歳のメンバー候補の入会式を予定しています。

EMCに力を入れ、若いメンバーが増えてきたこの機会に、副題の如く、未来に向かって、一步を踏み出す年としたいと思います。

そのためには、メンバー各人がワイズ活動：クラブ内の活動、京都部の活動、また、YMCAの活動に多く参加いただき、自分の係わりにより未来のめいぶるクラブを形成する力添えになっていただき、ニューメンバーのパワーを集結して全員で歩んで行き、将来への光が見える1年にしたいと思います。



京都キャピタルワイズメンズクラブ

会長 森 繁樹

京都キャピタルワイズメンズクラブ第34代の会長の森 繁樹です。会長主題は「先ず隄より始めよ！」です。具体的な活動計画として初めての試みとして、Yサ委員会、CS委員会、ファンド委員会、ブリテン委員会、EMC委員会の5委員会、歴代委員長座談会を開催していただき、ざっくばらんな意見がでるような、座談会を計画に揭げました。どのような座談会になるか楽しみです。また、8月に行われた台北の国際体で、台北アルファクラブ、東京クラブとトライアングのよるIBCの締結をさせて頂きました。

台湾は、親日で、食べ物も美味しく、日本語を話される多くおられ、台北アルファクラブとの深い交流が期待できます。ただ、まだ始まったばかりでこれからの長～い、永～いお付き合いが重要かと意識を切替えています。この1年が充実した年になるように、その後ワイズ活動に大いに役に立つように、頑張りたいと思います。どうぞ、宜しくお願い致します。謝謝！



京都プリンスワイズメンズクラブ

会長 蒔田 茂夫

『いつでも本気！』今期の会長主題です。

皆様こんにちは。プリンスクラブ第31代会長の蒔田茂夫です。

今期のプリンスクラブは30周年の節目に加え廣井京都部部長を輩出すべく期でもあります。

通年のクラブ事業もさることながら大変タイトなスケジュールをこなさなければならない一年となると思います。限られた時間やメンバー数などクラブを取り巻く現状は決して楽観できるものではありません。そこでこの会長主題です。仕事やスポーツ、遊びでも「本気」ですれば何故か楽しかったりすがすがしさを感じたり。メンバーひとりひとりが「本気」出して考え行動することです。いろいろな諸事情を乗り越えその後にはみんな喜びを分かち合いたい、そんな期にしたいと考えています。今期のプリンスクラブはとことん「本気」にこだわります。京都部の皆様そして各クラブの会長様、今後ともプリンスクラブにより一層の御指導ご鞭撻を賜ります様宜しくお願い申し上げます。



京都センチュリーワイズメンズクラブ

会長 平井 一郎

私は、2010年に一回目の会長を致しまして、今回は2回目となります。当クラブは少人数ですので6年目で、再度会長職が廻ってまいりましたが精一杯自分の特色を活かした活動をしたく楽しみたいと思います。

会長主題「ステージに上がろう・栄光にチャレンジ」の通り、幸いドライバー委員長の方が歌手及びスナック経営者ですので、一年間は芸能人にメンバー全員が成って頂いて、常に一人一人が主役で活動したいと思います。

年間行事は12月がクリスマス例会、1月には部長公式訪問、2月はメネット例会、3月はチャリティーカラオケ大会（予定中）、その他例会につきましては通常例会・納涼例会等で考えております。

当クラブは一年間大いに盛り上がり、有意義に活動してゆきたいと思います。



各クラブ会長

京都ウイングワイズメンズクラブ

会長 佐々木 貫二

次期30周年記念例会、そして未来へ向けて、もう一度初心に戻ってワイズライフを感じたく、そして見つめ直す思いで会長主題に「もう一度!! 心と体で」と題しました。抱負としまして同じ気持ちです。

いろいろと計画、思いはありますが今年一年で一番達成したい私の抱負は「ウイング家族、ウイングファミリーの絆を深めたい」と言うことです。

メネット、コメットみんな含んでのクラブ愛を深めたく思っております。ゴールはもちろんありません、今以上に少しずつ少しずつ。



京都洛中ワイズメンズクラブ

会長 竹山 直司

今期洛中ワイズメンズクラブ第29期会長に任命されました竹山直司と言います。宜しくお願いします。

ワイズに入って4年目で会長職につき、右も左もまだよくわからない状況でのスタートになりましたが、メンバーに支えられてなんとか今期スタートしました。

まだまだ分らない事ばかりですが事前の会長研修会や評議会、同期との会長会など昨年までとはくらべられないほどの行事に参加させてもらい少しずつワイズメンとしての意義を感じております。

我が洛中クラブは来期30周年を迎えます。それにこの29期に自分になにが出来たかをまず考えました、どの事業も大事ですがやはり地域奉仕とメンバー増強かと思います。

つばさ園の子供達とのサバエキャンプや花火大会、毎年春に行う嵐山クリーン作戦などの継続しているCS事業はもちろんですが自分が会長の時になにが新しい事に挑戦したいと思っています、そして新たな事業には新たなメンバーが必要です。次期30周年のみならず35周年40周年と先を見通したクラブに変えたいと思ひ洛中メンバー一同、今期会長主題の『常に初心で挑戦』念頭に置いて全力で取り組みます。



京都エイブルワイズメンズクラブ

会長 山根 拓也

エイブルクラブに入会して4年目で会長職を受ける事となりました。

まだまだ、ワイズメンズクラブの事も、YMCAの事も不勉強なまま、ですが、今期と28期と2年間会長を務めさせて頂きます。

CS事業・宇治社会福祉協議会事業・こもれびさん・野の花さん・少年少女サッカー大会等の継続事業の充実とEMC事業（メンバー増強）が1番の使命と考えて、他クラブと交流を深めながら、協調して、メンバー候補の方の参加をして頂ける、合同勉強会、親睦会、講演会、等を開催して、単一クラブのみならず、すべてのクラブのメンバー増強活動を行いたいと思っております。



京都グローバルワイズメンズクラブ

会長 情野 剛

今期会長主題は「夢を語ろう」。

グローバルが誕生して24年目を迎えました。我がクラブは何かを求める人達の場ではなく、具体的な何かをしたくてウズウズしている仲間達が集う場であり、社会の為にどう表現

し、どう一役を担うことができるのか、積み木をひとつひとつ積み上げながらも気概が見事にシンクロし、今日に至るまで掲げられた目的が達成されていく様を幾度と無く目にしております。25周年記念事業しかり、会員増強しかりとまた新たな目的が芽生え、そして着実に育ってきております。メンバーの皆さんと共に大いに夢を語り合い、その目的を達成するためにメンバーひとり一人が役割に徹し輝やいていくことこそが極めて重要だと確信しております。

もう一点、副題として「とびっきりの笑顔で社会に奉仕しよう」と!」を掲げているように、「笑顔」無くしてグローバルは語れません。先輩方が築かれてきた道を踏襲していくことも大切なことです。合言葉はそう「Smile, Smile, Smile」



京都みやびワイズメンズクラブ 会長 中原 茂

何としても、メンバーを20名以上にしたい。24年間ワイズメンとしてやってきました。それまであまり危機感を持ったことはなかったが、ここ最近、主力メンバーを見ていると年をとってきたなという感じが否定できなくなってきた。みやびクラブ24期目、今頑張らなくていつ頑張るんだという時を迎えている。



さて、メンバーを増やすためには、自分の周りの人たちに、ワイズのことを説明しなければならない、その時自分の心に誇りがないとだめである。私自身入会に至るまでを思い出すと、複数の方からワイズの説明を受けた。YMCAをサポートしていること、奉仕活動をしていること、ロータリーやライオンズと違いメネット（妻）コメント（子供）まで入れて家族ぐるみで親睦のエネルギーを奉仕活動のエネルギーに変えて活動しているとのことでした。私は入会してそれを実践し、自分自身が生かされているということに気づきました。これがワイズメンの誇りでしょうか。さあメンバーを増やすぞー！そして、例会も、忙しい仕事の時間を割いても値打ちがある例会をやるぞー！

京都トップスワイズメンズクラブ 会長 河合 博之

京都トップスワイズメンズクラブ第23期の会長を拝命致しました、河合博之でございます。会長主題は「温故創造」副題は「大木から銘木へ」です。現在クラブメンバーは50名を超え平均年齢47.6歳と若く元気のあふれるクラブです。それゆえ、幅広い年齢層と会歴層が存在し、チャーター当時のクラブの思いや変わりゆく中での様々な思いが存在しています。そこで「傾聴するクラブ、傾聴できるクラブ」を実践し「奉仕」「親睦」「自己研鑽」をバランスよく大きくすれば必ず、トップスクラブは「大木から銘木」となると確信しております。また、北京都フロンティアクラブの代表スポンサークラブの一翼として京都部から西日本区へ活力を発信できるよう一年にしたいと思います。



京都トゥッピーワイズメンズクラブ 会長 安井 基晃

期会長主題の「update」はメンバー全員に例会や事業など参加して楽しんだり、意見を話し合ったりしてクラブもメンバーも全てが一つ上の階段をのぼれたらと思い会長主題を「update」にしました。



次期は20周年を迎えるにあたってビジョン委員会を今期単独で設け、これからのトゥッピークラブ10年20年先を考えるいい時期と思いメンバー全員で意見しあえたらと思っています。

YMCAの企画する事業への参加、継続していける事業を見直し20周年に向けてメンバーの増加、ゲストが沢山参加していただける例会等委員長含めメンバー全員で企画、話し合えたらいいと考えております。

あっという間に3か月が過ぎ、まだまだ足りない会長であります、頑張っていきたいと思っています。

京都東稜ワイズメンズクラブ 会長 延近 昌彦

第13期東稜ワイズメンズクラブ会長の延近です。

東稜クラブでは、祇園祭の清掃事業・山科四宮祭りの清掃事業・志津川福祉の園への協力活動・てんとう虫マラソンへの協力活動等、地域に根差した活動を中心に行っています。

また、第2例会をクリーン例会として山科・醍醐地域のクリーン活動を毎月行い季節の移り変わりを感じ、楽しみながら活動を行っております。

今期の当クラブの活動方針は、協力という主題に基づいてメンバー全員が協力してクラブ活動を行い、終わればお互い労い感謝をするという当たり前の事を当たり前にし和やかでメリハリのあふれる活動を行っていきます。

当クラブは少人数のクラブですので、その中にゲストの方に来て頂き雰囲気を感じて頂ければ、新たな仲間をお迎えできるのではないかと思います。



各クラブ会長

京都ウェルワイズメンズクラブ

会長 奥村 治

第21回京都部会を開催されるに当たり、京都部の廣井会長をはじめホストクラブとして運営企画をして頂いたプリンスクラブのメンバーの皆様、そして諸関係者の方々に感謝申し上げます。ありがとうございます。



この一年間、私自身が決意している事は、全ての行事を楽しんで元気に活動したいと思っています。勿論、大きなことは出来ませんが、自分自身が出来る小さな積み重ねを大事に、そして今迄以上に少し掘り下げて各行事の主旨を理解する様に心掛けて行きたいと思っています。そしてこの機会にワイズメンズクラブを別の角度から見つめ直し、行事を通じて喜びや感動を改めて体験し、大きな課題でありますメンバー増強に繋げて行くことが出来れば尚最高です。

そして何よりもこのクラブを通じて皆様との出会いを大切に自分自身が成長させてもらえる事が一番の財産です。

この一年間、宜しくお願い申し上げます。

京都ZEROワイズメンズクラブ

会長 宮越 寛



ZEROも7期目を迎えます。この間、良い事もそうでない事も体験しましたが、吸収し糧とし、そして乗り越えて今日に至っています。メンバーそれぞれが「すごく成長したな」、「いや、まだまだだな」と

か、様々な思いを持っているかと思いますが、確実に成長しています。しかし、節目の10期が見えてきて、そして部長輩出クラブとなることを考えると、更なる成長と充実・深化が必要です。その為には、メンバーひとりひとりが今以上にクラブへの関わりを深めることが必要かと考えています。

ワイズメンとして、社会人として、取り巻く環境は「家族(友人)」「仕事」「地域」「ワイズ」「趣味」と大雑把にはこの5つ程度かと思っています。この5つのバランス(割合)は、当然ながら人それぞれです。人それぞれのバランスを、肩に力を入れて変えるとそこに無理が生じます。無理が生じると全てがうまく廻らなくなります。今以上にクラブへの関わりを深めてもらうには逆効果になります。では、どうすれば？

まず、毎日心穏やかに過ごせる努力・工夫を心がける。何事においても、急いで事は仕損じます。そして日々過ごす時間が無駄とならぬように、その時々々の環境に順応できるしなやかさを持てるよう努める。ひとりひとりの五角形は、無理に変形することなく五角形のサイズアップに努めていただき、そうすることによってクラブのことを考える時間や活動時間を今以上に増やし、クラブへの関わりを深める。もちろん、それぞれの五角形を変形させずサイズアップする為には、各人の全方向の努力と工夫が必要です。

会長主題の「自然体」とはそれぞれの考えと環境を基に型造られている、それぞれの五角形のスタイルを無理に変形することなく、その形の充実と安定を基にその形の拡大を目指し、その時々々の環境の変化に順応できる社会人であるワイズメンの「体」と考えます。そして「自然体」での拡大した時間をクラブ運営やビジョンの構築と実行、仕事や家族にも反映させていただければ、ワイズメンとしての高い意識を持ったメンバーが集う、楽しくて素晴らしいクラブへさらに一歩前進。

今期は上記のようなことをメンバー皆へ訴えかけ、楽しむ事と達成感に浸ることも忘れずに、「自然体」を少しでも実行していただければクラブの成長に必ず繋がると信じ、1年間苦勞も糧と捉え、自分自身も楽しむことを忘れずに過ごしたいと思っています。

北京都フロンティアワイズメンズクラブ

会長 辻 直紀

去る9月11日、グランドプリンスホテル京都にて、北京都フロンティアワイズメンズクラブが、関係各位の御指導・御鞭撻の御蔭をもち、無事に国際協会加盟認証状伝達式を終え、京都部19番目のクラブとしてチャーター致しました。



当クラブは、舞鶴の地に誕生しましたが、舞鶴の地だけに留まらず、北京都全域に開拓者精神「フロンティア・スピリット」を持って活動を広げていきたいという思いから「北京都フロンティア」としました。

設立メンバー21人が、平均年齢40代と若いクラブ故に、試行錯誤することも多いと思いますが、若さというパワーを最大限に発

揮し、新しい発想や夢の基、クラブを通して出来た仲間の輪を、この北京都全域に広げられるようになればと考えております。昨春に開校しました舞鶴YMCA国際福祉専門学校の支援団体として、YMCAとともに地域社会への様々な奉仕活動を展開するという国際的ボランティア団体であるワイズメンズクラブの使命を忘れず、今後はともに手を携え、北京都の発展に向けて邁進していきたいと思っています。まだまだこれからクラブではございますが、何卒温かく見守っていただきますよう、併せまして御指導・御助言を賜りますよう心より御願ひ申し上げます。

最後に成りましたが、遠方にもかかわらず、何度も足を御運び頂き、本日まで私共を御指導いただき御苦勞をお掛けいたしました設立準備委員会の皆様に心より厚く御礼を申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

第21期 京都部予算

2016.07.01～2017.06.30

収入の部

単位:円

科目	19期決算額	20期決算	21期予算額	備考
部費	1,642,200	1,633,700	1,577,600	464人(連絡主事免除)×¥3,400 ※21期前期半年報
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区から部一律
部活動援助金2	95,800	98,200	97,200	区よりメンバー一人当たり¥200×488(特別ネット5名含む)
西日本区ファンド収益	0	0	0	
利息	192	315	0	
単年度収入小計	1,838,192	1,832,215	1,774,800	
前期繰越金	1,069,826	1,482,923	1,720,340	
西日本区支援金	50,000	50,000	250,000	YYYフォーラム、YES他(内200,000円補助)
合計	2,958,018	3,365,138	3,745,140	

支出の部

単位:円

科目	19期決算額	20期決算	21期予算額	備考
主査・三役活動費	140,000	100,000	100,000	主査活動費@ ¥20,000×5事業
部事業費	312,161	686,096	1,098,000	
会議費	93,100	88,600	80,000	会議会場費
印刷費	220,840	77,801	150,000	部報・会議資料等
部会補助費	492,000	459,459	481,000	@ ¥1,000×481人(連絡主事を含む)
研修費	148,000	190,000	229,000	研修会登録費(10月、3月)
通信費	42,730	42,086	50,000	郵便・電話・部ホームページ維持費
交通費補助費	26,264	0	30,000	
事務費	0	756	20,000	
慶弔費	0	0	20,000	
公式ビジター受入費	0	0	50,000	
単年度支出小計	1,475,095	1,644,798	2,308,000	
次期繰越金	1,482,923	1,720,340	1,437,140	
合計	2,958,018	3,365,138	3,745,140	

特別会計・収入の部

単位:円

科目	19期決算額	20期決算	21期予算額	備考
前期繰越金	335,958	394,958	354,526	
在京クラブ支援金	324,000	160,000	300,000	
一般会計より振替	0	0	0	
合計	659,958	554,958	654,526	

特別会計・支出の部

単位:円

科目	19期決算額	20期決算	21期予算額	備考
GCS支援金	200,000	100,000	300,000	国際・ユース支援(GCS、YC等)
YC支援金	65,000	0		
予備費		100,432		STEP等
次期繰越	394,958	354,526	354,526	
合計	659,958	554,958	654,526	

第21期 京都部予算(支出明細)

2016.07.01～2017.06.30

単位:円

科目	細目	19期決算額	20期決算	21期予算額	備考
主査活動費	Yサ・ユース	20,000	20,000	20,000	
	EMC	20,000	20,000	20,000	
	地域奉仕・環境	20,000	20,000	20,000	
	ファンド	20,000	0	0	各事業・三役活動・運営費等
	国際・交流(交流)	20,000	20,000	20,000	
	広報	20,000	0	0	
	メネット	20,000	20,000	20,000	
三役活動費		0	0	0	
	小計	140,000	100,000	100,000	
部事業費	YYYフォーラム	3,607	55,199	50,000	西日本区より補助分
	CSチャリティーボウリング	40,000	40,000	40,000	
	事業懇談会・委員会	33,000	46,060	60,000	5事業3000×2回+PR3000×10回
	国際協力募金支援	0	0	0	
	ワイズデー事業	100,000	180,000	200,000	
	全国リーダー研修会	0	0	0	
	合同メネット会関連	135,554	0	100,000	
	PR委員会(広報事業)	0	60,000	60,000	
	北京都フロンティアクラブ設立準備	0	304,837	500,000	部より300,000円 西日本区より200,000円
	予備費	0	0	88,000	
	小計	312,161	686,096	1,098,000	
会議費	評議会・役員会	93,100	88,600	80,000	ホテル、マナホール、教室使用料
印刷費	部報	195,840	68,000	100,000	印刷1報+ホームページ2報
	会議資料	25,000	9,801	50,000	評議会・役員会・三役会資料作成
	小計	220,840	77,801	150,000	
部会補助費	京都部部会補助	492,000	459,459	481,000	1,000円×481名(主事含む)
研修費	部長	0	17,000	17,000	10月次期役員研修会
	次期部長	33,000	32,000	33,000	10月次期役員研修会、3月次期会長主査研修会
	次期主査	64,000	80,000	80,000	3月次期会長主査研修会(¥16,000×5事業)
	次期三役	49,000	58,000	99,000	10月・17,000×3名、3月・16,000×3名
	資料代	2,000	3,000	0	19期・欠席1名分
	小計	148,000	190,000	229,000	
通信費	郵便・振込手数料等	9,790	9,146	10,000	
	部・ホームページ関係	32,940	32,940	40,000	サーバー料金25920円+ドメイン維持費7020円
	小計	42,730	42,086	50,000	
交通費補助費	西日本区事業主任交通費	26,264	0	30,000	
事務費	事務備品	0	756	20,000	
慶弔費		0	0	20,000	
公式ビクター受入費		0	0	50,000	
	支出合計	1,475,095	1,644,798	2,308,000	

特別会計・支出の部

単位:円

科目	細目	19期決算額	20期決算	21期予算額	備考
GCS支援金		200,000	100,000	300,000	国際・ユース支援(GCS、YC等)
ユース支援金		65,000			
予備費	STEP等		100,432	0	
次期繰越		394,958	354,526	354,526	
	合計	659,958	554,958	654,526	